

アクトスとJA三井リース

FC加盟拡大へ提携

低価格スポーツクラブ

バローホールディングスの子会社でスポーツクラブを展開するアクトス(本部・可児市、清水俊宏社長)と、農林中央金庫のグループ会社のJA三井リース(東京都、古谷周三社長)は6日、低価格のスポーツクラブ「アクトスウィーグ(ウィルジー)」のフランチャイズ(FC)加盟企業拡大に向けて業務提携を結んだと発表した。

(河合修)

心のある企業や店舗候補物件の情報提供を受け、リース提案を基に営業展開する。

ウィルジーは、月額2700円(税抜き)の低価格が特徴。シャワーなどの設備を置かずにコストを抑

FC加盟には、トレーニングマシンなどの設備購入

で多額の初期投資が必要になるため、JA三井リースが新たにリース事業のメニューを提供。現在は15社のFC加盟企業を2020年4月から1年間で新たに20

社増やす。

店舗設備のリースは初期コストを抑えることができ、企業にとってスポーツクラブの運営事業に参入しやすいメリットがある。アクトスは、JA三井リースからFC加盟に関

え、幅広い層に会員を広げている。店舗数は17年3月末の21店舗から19年12月1

日時点で128店舗に拡大。うち42店舗はFC加盟の15社が運営する。